

ケアンズ通信 2017

2017 年 7 月 14 日（金） [国際コース海外語学研修出発式](#)

国際コースの 2 年生 14 名が、オーストラリア語学研修に向けて出発しました。

出発式では三好教頭のあいさつに続いて、生徒代表池田くんが研修への抱負を述べました。

その後、家族やクラスメートに見送られて元気に出発しました。

日程は 7/14～7/29 の 2 週間です。今日 21:00 発の直行便で関西国際空港を出発し、明朝 5:15 にケアンズに到着予定です。



[三好教頭から激励のことば](#)



[生徒代表池田くんの挨拶](#)



[クラスメートに見送られて出発](#)



関空から「行ってきます」

予定通り、ケアンズ国際空港に到着です。



JQ016 安全に飛んでくれてありがとう



ケアンズ到着

昼食までしばらく市内見学です。



まだ朝 7 時半



キュランダ鉄道「見に行っただけ」



バンジージャンプも見に行った



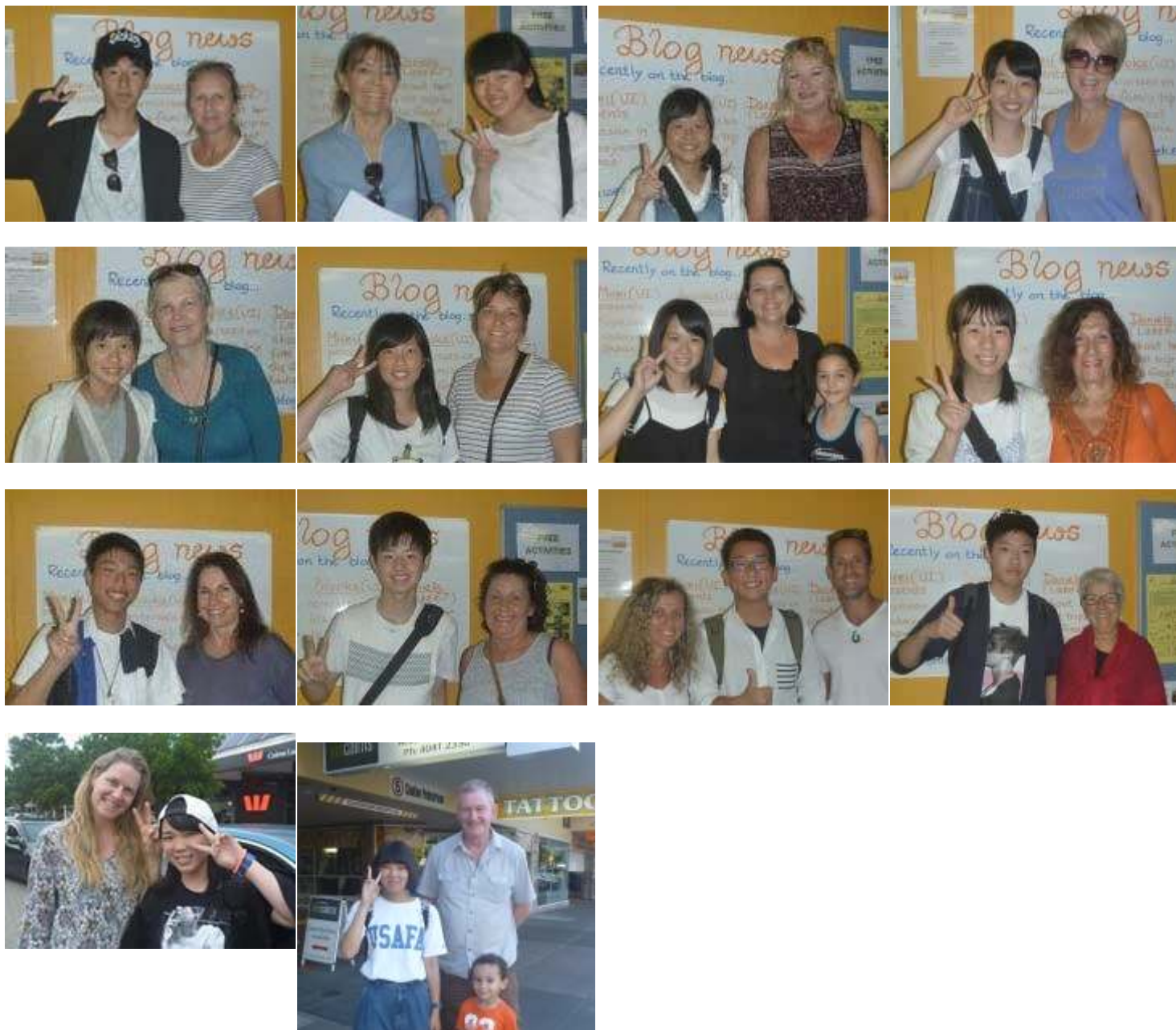
ランチ



ランチ

この後、生徒はみなホームステイに入りました。

7/16(日)はそれぞれのファミリーと過ごしました。



ケアンズ通信2号 7月17日(月)

CCEB(Cairns College of English and Business) での初日です。

8:30集合。渋滞で5分ほど遅刻した生徒が1人いましたが、他はみんな元気に登校してきました。

オリエンテーションが始まるまで、週末の出来事などを話合っていました。

コーディネーターは初日を一番心配していましたが、問題は何もなく順調にプログラムが始まりました。

去年と同じ教室です。講師は男性のPaul先生。50歳ぐらいでしょうか。後日もっと仲良くなったら歳も聞いてみます。

大きすぎるぐらいの声で、ゆっくり過ぎるぐらいゆっくり話してくれるので、生徒にはわかりやすいと思います。

午前は自己紹介と人口や都市名、国旗などオーストラリアについての基本情報を学びました。

午後はリーフティーチ(Reef Teach)の講義でサンゴ礁とそこに住む魚について学びました。

講師のAbby先生が若いイギリス人の美人で、みんな見とれていました。 *特にTom



Reef Teach にて

ケアンズ通信3号 7月18日(火)

8:30全員集合。

午前には植物についての勉強。植物を描写するための形容詞を学びました。



授業の様子



授業の様子

授業が終わってバスに乗り、植物園へ到着。入場料は無料。

園に入って木々のなかでランチタイム。

Paul 先生について園内を散策しました。

先生は時々立ち止まってコーヒーの木やマンゴーの木などを説明してくれました。

原生林の中、ボードウオークの上を1時間半歩きました。

足が疲れましたがマイナスイオンの中で森林浴ができ、健康になった気がします。

園内で我々は超珍しい幸運の蝶「ユリシス（学名:*Papilio ulysses*）」、日本名では「オオルリアゲハ」を3羽も見ました。

言い伝えによると「見るだけで幸せになれる」「肩など体にとまると、億万長者になれる」ということです。誰の肩にもとまってはくれませんでした。これから先が楽しみです。



植物園 1



植物園 2



植物園 3



植物園 4



植物園 5

ケアンズ通信4号 7月19日(水)

8:30全員集合。

午前中は昨日の植物園の復習をした後、「BとV」「LとR」などの聞き分けや、言い分けの練習をし、さらに英語の早口言葉を使ってゲームをしたりしました。



授業：発音と早口言葉

午後は街に出て、ケアンズについてのクイズに答える活動がありました。

クイズの一例：As you wait to cross Sheridan St. write down the name of the coffee shop on the intersection that's diagonally opposite. 「シェリダン通りを渡る時、その信号を待っている間に交差点のななめ反対方向にあるコーヒーショップの名前を書きなさい」などです。

近くにいくつかコーヒーショップがあるので、正確に読み取らないと正解が出ません。

今日は生徒の万歩計によると7,000歩、昨日は1万歩を超えたそうです。



街に出てケアンズクイズ



ショッピングモール「ケアンズセントラル」に到着



ストリートアート in Cairns



セレブが住むマンションの名前は？



これは何を撮ったでしょう？・・・答えは次回

* こぼれ話 1

シャワールームにゴキブリが出て、怖がっていたある女子。

ホストマザーが来て裸足でゴキを踏み潰して退治してくれました。

* こぼれ話 2

昼休みネットで三高対高商の速報を見ていて三高が点を入れるたびに大声を出していた女子。

近くの教室の先生に叱られました。

ケアンズ通信5号 7月20日(木)

8:30全員集合。

まずは昨日の最後の写真の答えから。

あの写真が狙っていたものは「看板の上の柱から突き出た針金」でした。

学校の近くには鳩がたくさんいて、あの場所にとまって糞をすると下を通る人に迷惑がかかるので、とまれないようにしてあるそうです。

今日も晴天で気持ちの良い日でした、が、生徒は午前も午後も教室での勉強でした。

昨日はケアンズの街を歩いて案内してもらったので、今日は香川の自分たちの家の周りを地図を描いて Paul 先生に説明してあげました。



私の家の周りを案内しました

次に Adam's apple 「のど仏」 など体の部位を習い、その次に quickly, carefully など副詞の使い方をジェスチャーとともに
ならい、それを Charade (ジェスチャーゲームのようなもの)に取り入れました。



身体の部位を英語で学習



副詞の勉強中

charade ゲーム

午後は英語で指示された内容をどれだけ正確に黒板にイラストで描けるかをグループ対抗で行いました。



イラストで描けるかグループで対抗

それぞれの活動の様子を写真で確認してください。

明日はいよいよグリーン島探検です。今日のような素晴らしい天気でありますように。

* こぼれ話 3

オーストラリアの生ハムが「だいすき」になった男子。

生ハムが好き過ぎて、生ハムを口にいれたままプールに飛び込みました。

プールが思ったより深いのに驚き、生ハムを出してしまいました。

水面にはプカプカと生ハムが。

ケアンズ通信6号 7月21日(金)

7:30全員元気に集合。天気はなんとか晴れ。

今日はグリーン島へ行くため、いつもより1時間早い集合ということで、みんな緊張感を持って遅れないようにやってきました。

ところが、チケットを持っている Paul 先生が遅刻！ 無事船には乗れました。

ケアンズの港から片道50分。最初はしゃいでいた男子が2人船酔い。気持ちはわかるけど、なにもしてあげられませんでした。



グリーン島フェリー

島に着き、Paul 先生の説明を聞いてからシュノーケリングの道具を借りて、早速海へ。

ところが午前中だし、曇りがちだしで、水が冷たくてなかなか一気に攻められませんでした。

沖まで行けた生徒は熱帯の魚の群れなど見られたそうです。

ただ、珊瑚はだいぶ死んでいるようです。



グリーン島にて



グリーン島にて

昼食はバイキングでしたが、メインの料理がチキンカレーとポークカレーとビーフカレーと野菜カレー。おな一杯カレーをいただきました。



ランチのビュフェ



グリーン島にて

昼からは晴天になり、気温も上がり、絶好のシュノーケリングかと思いきや、潮が引いて海が100mぐらい沖に行っていました。

でも、ビーチやプールでゆっくり、のんびり過ごせました。帰りの船ではみなさん爆睡状態でした。



さよなら、グリーン島

* こぼれ話 4

ホストファミリー宅の5歳の子に偉そうにされてしまう女子。

夕食後子供用の本を持ってきて、絵を指さして英語を教えてくださいます。

Apple とか Orange とか、最初かかわいいと思いましたが2時間も偉そうにされると「ええかげんにせーよ！」とか言いたくなります。

ケアンズ通信7号 7月22日(土)

8:30全員元気に集合。

土曜日なので学校は休みでしたが、JTBの案内でキュランダ村へ行ってきました。

ケアンズから北西へ約25km、世界遺産に登録されている熱帯雨林に囲まれた小さな村です。

土産物屋が中心ですが、コアラガーデンではコアラ抱っこができたり、ワラビーとたわむれたりすることもできます。



キュランダに到着



コアラガーデンにて



キュダングにて

行きはバス、帰りはスカイレイル、という予定だったのですが、我々が帰る頃にやや風が強くなり、運行中止になってしまいました。

その代わり帰りのバスでレインフォレストーションというところに寄ってもらい、水陸両用の「アーミーダック」という乗り物で、原生林を探検することができました。

そこで再び幸運の蝶「ユリシス」日本名「オオルリアゲハ」を2羽見ることができました。



レインフォレストーション



アーミーダックで原生林探検



5mのワニ



キュダング展望台

今週末、スイスや香港からの生徒が大勢やってきました。

ホームステイ宅もにぎやかになるし、来週からは2階の教室も他国の生徒で一杯になることでしょう。

明日は日曜日なので次回のケアンズレポートは月曜日にアップします。

ケアンズ通信8号 7月23日(日)

日曜日は各自ホームステイ先でホストファミリーと過ごしました。その様子を写した写真です。



パロネラパークへ連れて行ってもらいました...Kaede



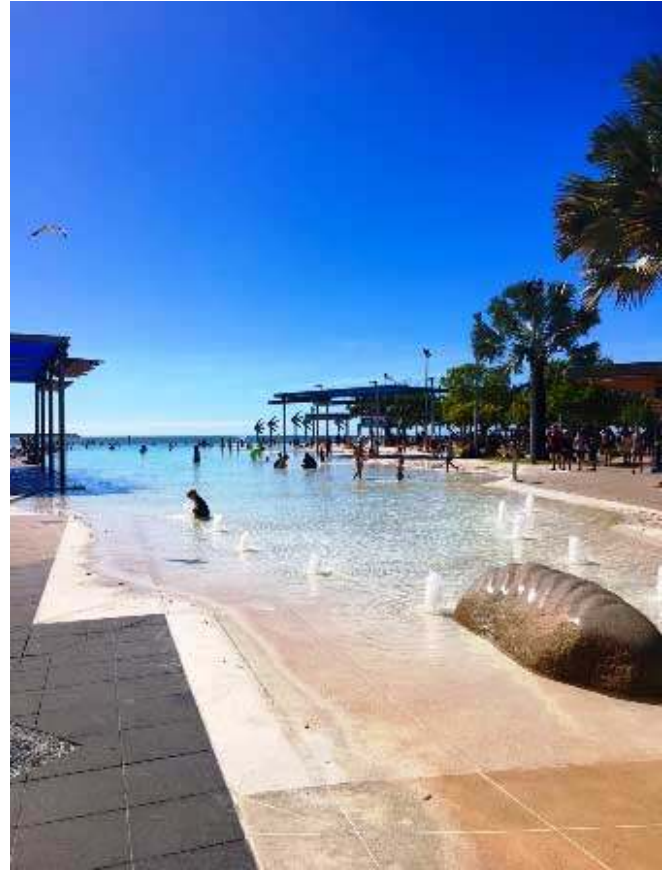
メルヘンチックな部屋に住んでいます...kaede



日曜日のパスタディナー、結構な量...Kaede



ホストマザーとドライブにいきました...Yuka



ラグーン行ったらいい天気なのに人が少なくて最高...Yuka



土曜日から一緒にホームステイしている香港の女子です...Yuka



一緒にホームステイしているスロバキアから来たダイアナ
超美人超スマート...Chisato



一緒にホームステイしている香港から来た
ジェニスとジェミナ...Chisato



週末の出来事...Maho



週末ごとに旦那を連れて実家に戻る娘たち2人 plus Yuta



週末の海を見て黄昏る男子の図...Yuta



ホームステイ宅のプールではしゃぐ男子の図...Yusaku

* こぼれ話5：便器の中にヒキガエルが住んでいる家の男子。

用を足そうと便器のふたを開けると握りこぶしぐらいのヒキガエルがいました。ホストマザーに言うとボールのような器ですくって外に放り出してくれましたが、別の日にまた戻って来ていました。

ケアンズ通信9号 7月24日(月)

8:30全員元気に集合。

午前中は授業で、最初に金曜日に行ったグリーン島でのことを話し合ったり、Paul 先生が行けなかった土曜日のキュランダツアーについて教えてあげたりしました。

次に今日行く乗馬についての予備知識を学びました。



午前中はCCEBで授業

午後はいつもより早めにバス停に集合し、学校から40分ぐらいのところにある「マウンテンライド」という牧場へ向かいました。

牧場には馬が45頭、牛が1頭、犬が6匹ぐらい、あとあひるがたくさんいました。

馬には「ポコ」とか「ティファニー」とか「トインクル」とか「ティー・ジェイ」とか全部名前がついていて、私たちを乗せて草原や熱帯雨林の中を45分歩いてくれました。

最初は馬が大きくて怖がっていた女子もいましたが、全員無事に乗馬体験をエンジョイできました。



乗馬の説明



乗馬体験 1



乗馬体験2

馬の蹄鉄を投げてポールに引っ掛ける輪投げのようなゲームもしました。

優勝した Maho には、壁に飾っておけば幸せが貯まるという本物の蹄鉄がプレゼントされました。



優勝賞品に蹄鉄を頂きました。



マウンテンライドにて

* こぼれ話 6

鳥にやられた Tom

乗馬体験の途中、どうやら森の中で鳥に糞(dropping) されたようです。

いつものオレンジのポロシャツの背中にその跡がくっきり。

本人は気づいておらず生徒の冗談だと思っていましたが、写真に撮って見せられてがっかり。

あと5センチ前だったら頭直撃だったかも。

ケアンズ通信10号 7月25日(火)

8:30全員元気に集合。

午前中は動詞の過去形、現在形、未来形を全部使って自分の人生について物語を作りました。

生まれてから今までのこと、そして将来のことを想像も交えてみんなの前でプレゼンテーションしました。

その後サイコロを使って、英語の人生ゲームのようなものを行いました。いろいろなことを英語で説明しなければならなかった
ので、自分たちの単語力のなさを痛感させられたゲームでした。



午前はCCEBで英語のレッスン



英語で人生ゲーム

午後は早めに学校を出発して、バスで20分ぐらいのところにある Woree State High School (ウォーリー高校) を訪問しました。広くて緑が多い公園のような学校です。

着いてすぐ、担当の先生から我々14人全員がペアになるように言われ、女子には女子、男子には男子のバディが紹介されました。

その後は何をするのもそのバディと一緒にしました。一対一なので、相手の言うことを一生懸命聞いて理解し、こちらも精一杯反応しなければならず、頭をフル回転しました。

でも、同年代ということで、共通の話題も多くノリとフィーリングでいけたところもあります。紙のブーメランにデザインを描きバディで交換したり、一緒にバレーボールしたりしているうちにすっかり仲良くなりました。



バディと一緒に



天井の巨大な扇風機に注目！

最後には校長先生のお話を聞き、今日のプログラムの修了証書をいただきました。

フレンドリーな生徒達ばかりで、集合写真を撮ってからバスに乗り込むまでバディでいてくれて、ほんの数時間でしたが充実した午後になりました。



みんなで記念撮影

* こぼれ話 7

ウォーリー高校の生徒、バレーボール超下手。

サーブ入らないし、ネットタッチするし、ホールディングするし、三高のクラスマッチに出たら確実に25対0で負けます。

* こぼれ話 8

体育館の扇風機が邪魔。

体育館の天井におおきなプロペラのような扇風機が回っています。

ボールが高く上がると、その羽に当たるとんでもない方向に飛んで行ってしまいます。

ケアンズ通信11号 7月26日(水)

8:30全員元気に集合。

珍しく今日は一日中雨。

でも、運が良いことに戸外のプログラムが予定変更になっていて、今日は一日中教室での授業でした。天気に合わせてようなラッキーな変更でした。

午前中はこれまでケアンズで10日間過ごしてきて気が付いた日本との違いを、まずは与えられた用紙に書いて、後でそれを発表する、という活動をしました。

ケアンズで食べたもので気に入ったもの、またはどうしても食べられなかったもの、そしてその理由を述べるとか、文化的、習慣的に何が日本と一番違っているかとか、これまで行ったところの中でどこが一番気に入ったか、それはなぜか、などです。予め項目が与えられていたので、書くことは簡単でしたが、発表は恥ずかしがらずにもう少し大きな声で、堂々とできればよかったかと思います。



午前中のCCEBでのレッスンの様子

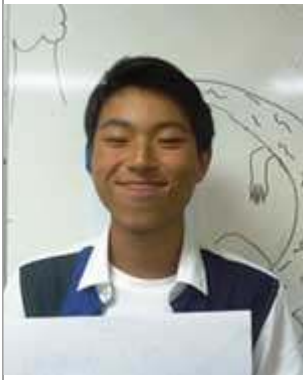
午後は世界の有名人について、仮定法を使って、もしドナルド・トランプになったら？とか、今の有名人で100年後も名前が残っていそうなのは誰か？などを話し合ったり、有名人であることのメリットとデメリットについて発表し合ったりしました。



午後のCCEBでのレッスンの様子

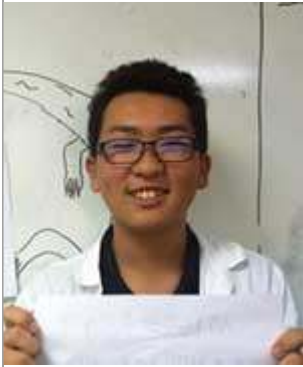
今日は写真データが少ないので、授業の最後に一人ずつ、「ケアンズでこれまでに一番印象深かった事または物」を紹介してもらいました。

	ケアンズでこれまでに一番印象深かった事またはもの
 Yusaku	ホストマザーの車、普通車だけど、スピードメーター240km までついていること
 Daisuke	500ml のペットボトル水が \$ 3 = 約 ¥ 300、物価が高すぎることに
 Asahi	チキンナゲットとかの揚げ物が日本よりうまいこと
 Yuka	香港から来た女子が年下のくせに英語がネイティブすぎることに



Yuki

僕らがステイしているほとんどの家にプールがあること



Yuta

1セントコインが存在しないので、レジでは最後の桁が四捨五入になること



Hibiki

朝ごはんとお昼の弁当の内容が毎日ほぼ同じなこと、ちょっとは変えてー



Tomoe

オーストラリアの家庭は寝るのが早いこと、8時にはみんな寝てる



Maho

道端で会った見知らぬ人にも平気で話しかけること、驚きのコミュニケーション



Kaede

オーストラリアの学生は英語を喋るのが速いこと、頭がついていかない



Wakana

こちらはパスタとかパンばかり食べていると思ってたら、結構ごはんも食べている



Rina

お寿司を食べに行ったらみんな普通にお箸が使えていたこと



Momoka

お昼に毎日生ピーマンが入っていること、しかもでかい



Chisato

一緒にホームステイしているスロバキアと香港の生徒と仲良くなれたこと

* こぼれ話 9

弁当を忘れてホストマザーに学校へ届けてもらった女子。

授業が始まって1時間後、事務のお姉さんが教室の前へ弁当を持ってきてくれました。

三高でも似たようなことがありますね。

* こぼれ話 10

本気で宿題の心配をし始めたフェンシング部員。

オーストラリアから帰って、翌日インターハイへ出発。戻ったら甲子園が始まる。

あんなにたくさんの宿題をする時間あるんですか？

ケアンズ通信12号 7月27日(木)

8:30 今日は体調が悪くなった生徒1人から欠席の連絡がありました。

天気はあまり良くなかったのですが、1日中戸外での活動でした。

午前中は徒歩で行ける範囲でのケアンズ市内ツアーということで、まずは朝陽が差し込む歩道を歩いて埠頭まで行き、セレブが所有するクルーザーや帆船を見てきました。

昨日まではこの場所に豪華客船が2隻停泊していたのですが、天気が悪くて見に行く機会がありませんでした。

次にセント・モニカ教会のステンドグラスを見に行ったのですが、途中雨に降られて、ケアンズ図書館で雨宿り兼休憩をしました。

図書館の閲覧室にコーヒーのサーバーがあったり、一角でお母さんと赤ちゃんのグループが童謡を歌っていたり、結構自由なことに驚きました。

教会の入り口は小さく、目立たない様子ですが、礼拝堂は三高の体育館ほどあるかと思われました。

正面中央に十字架がかけられ、側面両側にはオーストラリアらしく、カンガルーや熱帯雨林など明るい雰囲気を与えてくれるステンドグラスが配置されていました。

中では数人がお祈りをしていたこともあり、荘厳な空気を壊さぬように、我々も自然と小声で会話しました。

CCEBに戻った時、偶然去年の英語の先生「ザンディ」に会い、一緒に写真を撮りました。



ケアンズ市内ツアー



帆船の前で



セント・モニカ教会にて



Zandy!

午後にはスーパーで材料を買い込み、ビーチサイドで BBQ を楽しみました。
途中雨が降ってきたり、風が出てきたりして、極めて危険な状態にもなりかけましたが、なんとか乗り越え、料理ができてみんなが食べるころには天気も回復してくれました。
終わりよければ全てよし、ということです。研修も残すところ実質1日となりました。
これまでも順調にきましたが、終わりまで順調でありたいものです。

* こぼれ話 1 1

目の前から突然消える男子。
雨の歩道を歩いていたとき、歩道の端が一部急坂になっている所へ来ました。
濡れているからそこを歩いたら滑るかも、と思った瞬間、見事に滑って転んでその下にあった工事現場の囲いの中へと消えていきました。

お別れBBQ



ケアンズ通信最終便 7月28日(金)

8:30 全員元気に集合。

いよいよ CCEB での勉強も最後の日となりました。

午前中は昨日の BBQ を振り返って物語を作りました。スーパーで何々を買って、どのように切って、焼いて、食べて、どうだったかという話です。

天気は完璧ではなかったものの、何とか乗り切れた BBQ でした。

CCEB 最終レッスン





次に Shrinking Story という伝言ゲームに似た活動をしました。

オーストラリアやケアンズについての200語ほどの情報が、人から人へと伝えられていくうちに、どんどん情報量が減っていくことと、内容が異なっていくことを体験できました。

その次に Talkopoly というボードゲームをしました。

サイコロを使って出た目の所を書いてあるテーマで、5～10文の話をするゲームです。What's a place you want to visit someday? とか What's an embarrassing experience you've had? などの質問ですが、単に答えるだけでなくストーリーを作らなければならないところと、その出来栄によってポイントがもらえるところに、面白さと教育的価値があると感じました。

スケジュールの変更があり、午前中に今回のプログラムの修了証書が Paul 先生から手渡され、一人ひとり握手をしているところを写真に収めました。



Paul 先生より修了証書をもらいました

午後にはアボリジナルアートの体験をしました。

23歳の女性、Alicia 先生はアボリジニーの芸術家で、わかりやすい英語で伝統的な芸術の説明をしてくれ、実習中には、いろいろとアドバイスをしてくれました。

最初は鳥の羽をワックスで固めて、それにペイントをしてペンダントを作りました。

次に、木製の無地のブーメランにペイントを施してアボリジニー風に仕上げました。

デザインのアイディアに困った時には、先生がパソコンの中に入れてあるカンガルーとか亀とかのデザインを見せてくれたので、それらを参考に集中して頑張りました。

2時間の実習があっという間に終わってしまい、そのまま続けてもっとレベルの高い作品にしたかった生徒もいました。

今日の作品は文化祭で展示する予定ですので、ぜひ見に来てください。



Alicia 先生



アボリジナルアート体験



真剣にアート作品制作中



ブーメランのペインティング完成

2週間前に三高がCCEBに来た時は、他の学校はどこも来ていなかったのですが、先週から香港、韓国、中国、日本からも大阪や鹿児島などからどんどん語学研修の生徒が来て、午後5時の迎えの時間には学校の前がアジア人で一杯になっています。これから更に込み合う前に私たちは研修が終えられたので良かったと思います。



CCEB 4階からの眺め



2週間通った CCEB の前で

We deeply thank our host families, CCEB and Cairns.